

令和5年度 事業経過報告

(一社) 山口県警備業協会

項 目	事 項 及 び 事 業 内 容
<p>第1 警備業務適正化及び経営基盤強化のための各種施策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 警備業「適正取引推進等に向けた自主行動計画」の周知 個々事業者における適正取引を一層推進し、賃金引上げ環境を整備するため、一部改訂された「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」の周知に努めた。 ◇ 「警備士の服装・身だしなみに関するガイドライン」の周知・実践 令和3年、警備士のステータス向上を図るために策定した「警備士の服装・身だしなみに関するガイドライン」の浸透を図るため、協会では安全パトロールにおける重点チェック項目の一つとして周知状況を確認するとともに、警備員指導教育責任者講習や特別講習受講者に対しても、逐次ガイドラインに基づく周知に努めた。 ◇ 経営者等研修会の開催 令和6年1月25日、口腔内の衛生管理が様々な病気の原因になることを踏まえ、公益社団法人山口県歯科医師会会長が「自分の歯を守れなくて人の命は守れるか」と題する講演を行った。(山口市) ◇ 暴力団等反社会的勢力排除に関する各種施策の推進 令和5年10月25日、柳井市で開催された「山口県暴力追放県民大会」に専務理事が出席し、暴力団排除に対する危機意識を醸成した。 ◇ 青年部会による各種事業への積極的参画と活動の強化 令和5年10月30日から11月2日までの間、県内7地区において、青年部会員が中心となり交通誘導警備業務に対する「安全パトロール」を実施した。令和6年1月27日には、青年部会員に対する研修の一環として、専門講師によるリスクリングに関する研修会に参加した。
<p>第2 警備業におけるDX及びICT・テクノロジーの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 協会ホームページの積極的な活用 令和5年1月からリニューアルした協会ホームページを最大限に活用した迅速な情報提供に努めた。従来、メール機能のみで対応しており、容量が重いデータの送付等が困難となるケースもあったが、ホームページに「会員専用ページ」を設けることでストレスなく情報提供可能となった。 ◇ 「全警協キントーン」の運用開始 全国警備業協会と都道府県警備業協会との情報交換ツールとして「全警協キントーン」による情報共有を開始した。 ◇ 「全警協eラーニング」の運用促進 令和4年4月から運用中の「全警協eラーニング」の活用促進を図るとともに、販売斡旋事務及び受講申込受付事務を実施した。 ◇ 各種会議、研修会におけるWeb会議の促進 コロナ禍が収束し、リモート方式によるWeb会議の機会はやや減少しているが、必要の都度リモート方式による小会議を実施している。
<p>第3 関係官庁との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 関係官庁との積極的な連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 「やまぐち犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」との連携

<p>第3 関係官庁との連携</p>	<p>山口県県民生活課が事務局となる「やまぐち犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」との連携を図り、犯罪の起こりにくい環境の整備、犯罪弱者等の安全対策の推進などに関する取組を継続実施した。</p> <p>② 「やまぐち防犯力強化プロジェクト会議」との連携 警察本部生活安全企画課から情報提供される防犯情報について、加盟員に対し速やかな情報発信を行い注意喚起した。</p> <p>③ 「山口県テロ対策パートナーシップ推進会議」との連携 随時、警察本部からテロ等に関する情報提供を受け、メール、機関誌等により会員に情報発信した。</p> <p>④ 山口県警察本部との意見交換会開催 令和5年9月14日、警備業法を所管する生活安全企画課及び交通規制業務を担当する交通規制課担当者出席の下、警備業に関連する業務の課題等について意見交換を行った。(山口市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県警～生活安全企画課長、交通規制課長等6名 ○ 警備業協会～会長以下5名 <p>⑤ 家畜伝染病発生時における交通誘導警備業務の推進 高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病発生時における発生現場周辺の交通誘導警備業務について、県担当課（畜産振興課）との間で発生時における取組を共有した。</p>
<p>第4 警備士不足問題への対応</p>	<p>◇ 総務委員会における「警備士不足」問題に対する意見交換を実施 令和5年7月20日開催した総務委員会において、警備士不足（人材確保）問題をテーマに掲げ、警備士不足の現状、打開策等について意見交換するとともに、協議内容について全加盟員へ情報発信した。</p> <p>◇ 労働局、ハローワーク等の関係機関との連携 労働局の外郭団体である独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催した「高年齢者活躍促進セミナー」への出席のほか、加盟員に対し、高年齢の警備士雇用に関連し、「65歳超雇用推進助成金制度」の案内パンフレットを配布した。</p> <p>◇ 「人材確保の取組に係る全国警備業協会と防衛省との連携に関する申合せ」に基づく退職自衛官に係る警備士への就職支援等 自衛隊山口地方協力本部担当者との間で、「申合せ」に基づく退職自衛官の再就職に関する協議を行った。</p>
<p>第5 各種会議の開催</p>	<p>◇ 定時総会 令和5年5月23日、「令和5年度山口県警備業協会定時総会」を開催し、警備業功労者等表彰の後、令和4年度事業経過報告、収支決算報告、令和5年度事業計画、収支予算のほか、専務理事の報酬額改定等6議案について審議、可決した。</p> <p>◇ 暴力団等反社会的勢力排除対策協議会総会 定時総会同日、「令和5年度暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」を開催し、事業報告及び事業計画について審議したほか、副会長が「暴力団等反社会的勢力排除宣言」を行い会員の暴力団排除に対する機運を高めた。</p> <p>◇ 新年互礼会 令和6年1月25日、「令和6年新年互礼会」を開催したほか、開催前には山口県歯科医師会会長による講演会を聴講した。</p>

<p>第5 各種会議の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年12月15日開催（出席者15名） ② 令和6年3月21日開催（出席者13名） ◇ 臨時役員会 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月23日開催（出席者14名） ◇ 各種委員会 <ul style="list-style-type: none"> ① 総務委員会 令和5年7月20日開催（出席者14名） ② 教育委員会 令和5年7月26日開催（出席者14名） ③ 防災委員会 令和5年8月24日開催（出席者12名） ④ 労務委員会 令和5年9月15日開催（出席者10名） ◇ 青年部会 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年6月14日開催（出席者15名） ② 令和6年1月27日開催（出席者14名：「至誠研究会」研修） ③ 令和5年10月30日から11月2日までの4日間7地区において、所轄警察署との合同による安全パトロールを実施した。 ④ 令和6年2月28日開催 全警協主催の「全国青年部会長等会議」に部会長、副部会長が出席し、青年部会としての活動について協議した。（茨城県） ◇ 正副会長、専務理事及び顧問による協議 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年6月27日、正副会長（会長及び副会長）、専務理事及び顧問による当面の課題等への対応について協議した。 ◇ 山口県暴力追放運動推進センターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度中、当協会専務理事が理事に就任する「山口県暴力追放運動推進センター」主催の通常理事会等の会議に出席した。 ◇ 全国会議 <ul style="list-style-type: none"> ① 全国警備業協会定時総会（東京） 令和5年6月7日開催 会長出席 ② 全国専務理事会議・専任事務局長会議、全国安全衛生大会（東京） 令和5年7月6日開催 専務理事出席 ③ 全国警備業殉職者慰霊祭、「警備の日」全国大会（東京） 令和5年11月2日 会長出席 ④ 教育委員会（東京：会長出席） <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年4月6日（第1回） ○ 令和5年9月30日（第2回） ○ 令和5年12月4日（第3回） ○ 令和6年2月26日（第4回） ⑤ 基本問題諮問委員会≪ICT作業部会≫（東京：会長出席） <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年7月4日（第1回） ○ 令和5年9月12日（第2回） ○ 令和5年12月5日（第3回） ○ 令和6年3月5日（第4回） ⑥ 全国事務担当者会議（東京） 令和6年2月9日 事務局職員出席 ⑦ 全国青年部会長・女性部会長会議（東京） 令和6年2月28日 青年部会長・副部会長出席 ⑧ 広報プロジェクトチーム会議（東京） 令和5年10月5日、令和6年1月23日、2月15日（青年部会長出席）
-----------------------	---

第6
教育事業の推進

- ◇ 特別講習現任講師研修会（全国警備業協会主催）
 - ① 施設警備業務 11名（1、2級対象合同）
 - ② 貴重品運搬警備業務 1名（2級対象）
- ◇ 特別講習講師候補者研修会（全国警備業協会主催）
施設警備業務 1名
- ◇ 特別講習に向けた事前講習（協会主催）
 - ① 施設警備業務 2級 令和5年6月17日 48名受講
 - ② 雑踏警備業務 2級 令和5年9月9日 37名受講
令和5年9月10日 41名受講
 - ② 交通誘導警備業務 2級 令和5年9月30日 54名受講
令和5年10月7日 54名受講
合計 234名受講
- ◇ 特別講習（警備員特別講習事業センター委託業務）
 - ① 施設警備業務 2級特別講習
令和5年6月24日、25日 48名受講（合格率 66.7%）
 - ② 雑踏警備業務 2級
令和5年9月23日、24日 40名受講（合格率 87.5%）
 - ② 交通誘導警備業務 2級特別講習
令和5年10月14日、15日 56名受講（合格率 75.0%）
合計 144名受講
- ◇ 特別講習主任講師研修会
令和6年3月18日、19日（主任講師）
- ◇ 山口県公安委員会委託講習（警備員指導教育責任者講習）
 - ① 1号警備業務
 - 新規取得
令和5年7月3日～10日 19名受講（合格率 94.7%）
 - 追加取得
令和5年7月6日～10日 9名受講（合格率 100%）
 - ② 2号警備業務
 - 新規取得
令和5年9月4日～8日 19名受講（合格率 89.5%）
 - 追加取得
令和5年9月7日～9日 1名受講（合格率 100%）
 - ③ 3号警備業務
 - 新規取得
令和5年10月16日～20日 2名受講（合格率 100%）
 - 追加取得
令和5年10月19日、20日 5名受講（合格率 100%）
 - ④ 4号警備業務
 - 新規取得
令和5年10月16日～20日 4名受講（合格率 100%）
 - 追加取得
令和5年10月19日、20日 10名受講（合格率 100%）
- ◇ 全国教育幹部研修会（警備員指導教育責任者講習講師候補者研修会）
令和5年8月27日～9月7日（2名参加）

<p>第7 労働災害の防止と 大規模災害への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 安全パトロールの実施（10月30日～11月2日：4日間） 県警察指導の下、青年部会を中心に県下7地区（19か所）において交通誘導警備業務を対象とした安全パトロールを実施、実施結果は役員会において報告したほか加盟員に通知した。 ◇ 全国警備業協会から発信される「重大労災事故速報」を加盟員に対し速やかに情報提供し、労災事故防止に対する危機意識の向上に努めた。 ◇ 労働災害防止等に関するポスター、作文、標語の募集 労働災害防止等に関するポスター、標語等に関し、令和4年度の優秀作品について定時総会において表彰を行い労働安全意識の高揚を図った。 令和5年度は、ポスターの部1名、標語の部3名を決定、令和6年度定時総会において表彰予定である。
<p>第8 広報活動の積極的 推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ① 「警備の日」に関連した広報 交通誘導警備業務を対象とした安全パトロールにおいて、パトロール従事車両に「警備の日」と記載したマグネットシートを貼付して広報したほか、各警備業者が警備業務を行うに当たり、マグネットシート貼付による広報を実施した。 ② 協会だよりの発行 各種会議・研修会等の状況、関係官庁の指示事項等、各種情報の伝達を行った。 ③ 防犯情報・テロ対策通信の発信 県警察（生活安全企画課、外事課）から提供される防犯情報等について、適宜発信を行い注意を喚起した。 ◇ 協会ホームページ「警備士の声」による広報 多くの方に警備業について興味を得てもらうため、協会ホームページ上に、「警備士の声」として警備士の生の意見を顔写真とともに掲載した。
<p>第9 そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 表彰 <ul style="list-style-type: none"> ① 警備業教育関係者等功労者表彰 3名 ② 警備業優良警備員表彰 41名 ③ 労働災害防止等に関する標語等優秀作品 4名 ④ 全国警備業殉職者慰霊祭記念メダルデザイン制作功労 2名 ⑤ 警備士の各種功労に対する表彰 1名 ◇ 「警備業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の徹底 同ガイドライン及び政府発表の新型コロナウイルス感染症予防対策を逐次加盟員に周知の上、業界としての感染対策を徹底した。 ◇ 協会未加入業者に対する加入促進 協会ホームページに協会加入に係るメリット等を明記したほか、各種講習や斡旋商品注文時等において入会に関する説明を行った。